

コロナと物価高から区民の命とくらし・営業を守る区政へ

第3回定例会・決算特別委員会（9月13日～10月12日）



区民要求が実現 （第3次補正予算）

★新型コロナウイルス感染症への対応

- 感染症患者受入医療機関支援助成の増
助成額：入院患者1名・1回につき10万円
- インフルエンザ予防接種助成
6か月以上15歳以下 1回1,000円助成
65歳以上と基礎疾患を有する60～64歳 実質無償
- 新型コロナウイルスワクチン接種
（初回接種を完了した全ての区民が対象）
オミクロン株に対応した新型ワクチンの接種体制を確保

★物価高騰等に苦しむ区民生活・区内経済を支える取組み

- 大学在学学生及び進学生臨時給付型奨学金支給 助成額：5万円
- 原油価格・物価高騰等における障害福祉サービス事業所・施設、介護サービス事業所・施設に対する支援
- 物価高騰における保育サービス事業所に対する支援
助成額（月額）：食材費400円、光熱水費600円
- 原油価格・物価高騰等における私立幼稚園に対する支援
助成額：食材費20円（1食）、光熱水費200円（月額）、燃料費4,500円（バス1台/月額）
- 物価高騰に係る区立小中学校給食食材費に対する支援
支援金：1食当たり小学校20円、中学校25円

★経済対策

- 公共施設改修工事等の前倒し実施

（第4次補正予算）

- 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金（5万円、約8万世帯）
*党区議団は、区独自に新型コロナ感染症や物価高に苦しむ区民に対して世帯所得200万円以下の課税世帯にも臨時給付金を5万円支給する組み替え予算を提案しました。立憲民主とフェア民が賛成しましたが、自・公・維等の反対多数で否決されました。

区民生活を守るには、区独自施策が不十分だった決算
第三回大田区議会定例会（9月13日～10月12日）が開かれました。2021年度決算は、

第一に、区は財源不足が見込まれることから予定していた財政基金11.8億円の取り崩しを行わず、逆に10.4億円も予算を余らせました。

区として独自施策で区民の暮らし・営業を守る施策を行わなかったことです。
第二に2020年度から3年間で580億円余の減収が見込まれるとして「事務事業見直し」を徹底して行い「リフト付き福祉タクシー運行委託事業」を廃止するなど削減したことです。
第三に「ポストコロナ」を理由に、学校な

ど公共施設の複合化、新空港線計画など大規模開発を優先したことです。
第四に委託とデジタル化で職員を削減し「住民の福祉増進」の自治体本来の役割を果たさなかったことです。
以上の理由で決算の認定に反対しました。

第3次・第4次補正予算で実現

4次補正予算が出されました。補正予算額は第3次71億円、第4次45億円。この中には党区議団が求めてきたものも多く、コロナ禍で苦しむ区民・中小業者支援の観点から賛成しました（左表参照）。

福井りょうじ氏の議員辞職について心からお詫び申し上げます

福井氏は、10月6日（木）深夜一時頃、飲酒運転による自損事故を起こし、10月11日（火）に議員辞職願を届け出て、12日に許可されました。福井氏の飲酒運転は、市民道徳と社会的道義を率先して守り、住民の利益を守って活動すべき党議員としては、全く弁解の余地がありません。

こうした事態に至ったことに対して、3期11年半にわたり、福井氏を支えていただいたみなさん、区民の皆さんに心からお詫び申し上げます。党区議団は、引き続きお約束した公約実現のため、全力を尽くす決意です。

区政とくらしの相談はお気軽に



杉山こういち
健康福祉委員
羽田空港対策特別委員
TEL 3730-3480



あらお大介
こども文教委員
リハビリテーション推進特別委員
TEL 3757-9881



すがや郁恵
総務財政委員
防災安全対策特別委員
TEL 3768-5844



黒沼良光
まちづくり環境委員
防災安全対策特別委員
TEL 3735-6467



大竹辰治
健康福祉委員
交通臨海活性化特別委員会委員長
TEL 3735-2611



佐藤 伸
地域産業委員
交通臨海活性化特別委員
TEL 3298-6362



清水菊美
総務財政委員
リハビリテーション推進特別委員
TEL 090-3342-3001

3つの議案を提案

性の多様性を認め合うパートナーシップ条例

性の多様性を認め合い、誰もが個人の尊厳を尊重される大田区を実現するための条例です。都内で10区6市、東京都でも11月から実施です。立憲民主とフェア民が賛成。

2級の精神障害者に手当支給する条例

一級の障害者と同額の4500円を支給し、心身に障害のある方々に対する手当を公平にし、就労等の社会参画を促すものです。立憲とフェア民が賛成。

大田区ゼロカーボンシティ宣言

温室効果ガス排出量を2030年まであと8年で30%削減はかなりの困難です。区の「ゼロカーボン宣言」を文章化し区民に届け、区民の協力を得ることを求めました。

3つの議案提案に「非現実的」「もっと議論が必要」と、自公・維などの反対多数で否決されました。

核廃絶・コロナ・物価高騰対策と地域循環型経済を

代表質問 あらお大介区議



代表質問では、まず核兵器をめぐる国際情勢について、核軍縮・

撤廃に向けた国際世論の高まりを受けて、平和都市宣言をしている大田区として国に核兵器禁止条約に批准すること、核廃絶に関して区長が声明を出すことを求めましたが、「国際的な議論を見守る」とどまりました。

コロナ感染症、物価高騰対策について、オミクロン株の特性に対応した新しい戦略をたて、早期診断・早期治療の体制を強化することにたいして、「医師会等との連携を密にする」、また、物価高騰対策本部を設置し特別融資制度を再開すること等提案しましたが、「新たな支援は考えていない」の答弁でした。

新年度予算について

2023年度予算に關連して、予算編成方針で示された「都市間競争に打ち克つ取り組み」ではなく、地域循環型経済のまちづくりを進めることを求めましたが「持続可能な未来への歩みを進める予算と位置付ける」の答弁、さらに、厳しい経済状況の中でのインボイス制度の実施延期を求めましたが「インボイス制度の運用開始に向けた区内企業支援を行うっていく」との答弁

また、介護問題では要支援1・2の認定が減少しているのは、総合事業が介護外しになっているのではないかと指摘しましたが、「元気高齢者施策を推進していく」。保育について、公的役割で保育の充実を図り、民営化計画を中止すること、保育士応援手当の削減をやめるよう求めましたが、「今後も必要な検討を進めていく」という答弁でした。

区民不在の新空港線開発は中止を

区は9月20日、東急電鉄と第3セクター設立の合意ができた突如発表しました。事業規模も費用も明らかにされず、コロナ禍で区

予算を多く使い残し、コロナ禍への支援が不十分な昨年度決算 決算特別委員会・総括質疑 佐藤 伸区議



憲法違反の

安倍元首相の国葬

岸田内閣は、9月27日、「国葬」を強行しました。党区議団は、

日、「国葬」を強行しました。党区議団は、

う答弁でした。区民不在の新空港線開発は中止を

大田区のかかわりについて、区は、6月に区が後援した企画が1件あった。今、各部署で調査中であり、後日公表すると答弁しました。「しつかり調査し、公表する事、統一協会のイベント後援などカルト集団との協力しないよう」再度求めました。

学校給食の無償化を

小中学校の学校給食の無償化が葛飾区(来年4月から)など全国に広がっています。「他の自治体で無償化ができて大田区で、なぜできないのか」の追及に、区は「実施について自治体の判断」と初めて答えました。

無償化は大田区で実現できません。さらに世論を広げましょう。

区施設の管理・運営委託契約の適正化を

入新井集会所など区施設の業務運営管理委託が、長年に渡って特定のNPO法人に随意契約で委託されています。Luz大森の1階にあるインフォメーションセンター内の区政情報コーナーと四階の入新井集会所の業務委託に加え、地下の駐車場の業務も行って

区や社会的要請を受けて時間短縮など影響を

法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

11月10日(木) 午後1時より
11月17日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室
(大田区役所10階) Tel.5744-1477

◎予約制です。前日までにお電話下さい。

議会日程(案)

- 11月 18日(金) 請願・陳情締切
- 29日(火) 定例会第1日 代表質問 杉山議員
- 30日(水) 定例会第2日 一般質問 清水議員
- 12月 1日(木) 常任委員会
- 2日(金) 常任委員会
- 6日(火) 特別委員会
- 8日(木) 定例会第3日

請願・陳情をお寄せください。傍聴にお越しく下さい。

議会ライブ中継実現へ

来年の第2回定例会(6月)から本会議インターネットライブ中継が始まります(現在は録画の後日公開)。党区議団はこの間ライブ中継の実施を求めてきました。